

筑波大学菅平高原実験センター 利用報告書

平成 28 年 7 月 16 日

貴センターを利用して行った実習・セミナーが終了しましたので報告します。

実習名 (セミナー名)	大気科学野外実験B (EE22553)					
利用 期間	自 平成 28年 7 月 13 日 ~ 至 平成 28 年 7 月15 日					
	区 分	教 員	大学院生	学部学生	その他	備 考
利用者	人 数	1	3	16		
うち 受講者	人 数		0	16		
<p>1. 実習・セミナーの内容について、簡潔にお書きください。 地球学類・3年対象の大気科学に関する野外実習を行った。実習では、1) 千曲川河川敷までの気温移動観測およびパイバル観測、2) 実験センター周辺での移動気温観測、3) 根子岳山頂にかけた移動気温観測およびデータ回収、から構成された。測器の使用法およびデータ回収を自ら実施し、定量データを取得する事を目的とし、後日、19日に筑波大学にて別途データ解析方法の実習と山岳気象に関する分析を行った。途中、雷雨にも見舞われ、夏特有の積雲発達メカニズムに関して解説を行った。上田市誌にある地域固有の気候や伝承の解説も行った。</p> <p>2. 成果をお書きください。(可能であれば写真なども該当シートに添付してください。) 以下の教育内容を達成した。 1) 気象観測測器の使用法習得 2) 自動気象観測データアーカイブ 3) 定点観測と分布観測方法の習得 4) 気象要素の標高依存性に関する学習 5) 極端現象出現時の気象解析</p> <p>3. 当センターをご利用いただいた感想、ご要望などご自由にお書きください。 7月中旬以降に既に実習の先約が入り、暖候期の実習を梅雨明け前の雨天が多い時期に実施せざるを得ない事が多い。暖候期における地球学類・専攻の実習日の割り当てに関する何らかの善処をお願いしたい。</p> <p>4. 当センターは、「教育共同利用拠点」としての実習等の利用状況・概要をホームページ等で公開しています。上記1、2、3で非公開を希望される内容がありましたらお知らせください。</p>						

担当教員 上野健一

所 属 生命環境系

職 名 准教授

当センターでは、ホームページ等で実習等の成果報告を行っています。
ホームページ上での掲載可能な写真を、コメントと共に頂けませんか？
皆さんの充実した実習等の報告をお待ちしております。

(以下のスペースに自由に写真をはりつけ、コメントをつけてください。)



根子岳山頂に向けた移動気温観測



根子岳山頂における集合写真



実験センターにおけるパイバル観測